

2018 年度 事業報告書

2018 年 10 月 1 日から 2019 年 9 月 30 日まで

特定非営利活動法人 北海道総合地質学研究中心

1 事業の成果

昨年度に引き続き本年度も多彩な事業活動を行ない、多くの成果を得たものと自己評価を行っている。

「会員の研究を支援する活動」として3回の研究セミナーと1回の論文輪読会を開催し、当研究センター外の地質学・地球物理学研究者も交えて高度な学問的議論を行った。また、「会員の研究を支援する活動」および「会員の研究成果の発表・出版を支援する活動」としてアクセスフリーの学術雑誌「総合地質」(2巻1号と3巻1号)を発行した。3巻1号からそれまでのオンライン版(ISSN 2433-7161)に加え、プリント版(ISSN 2435-2187)も発行し、国立国会図書館、国立研究開発法人産業技術総合研究所地質情報基盤センター、北海道立図書館、北海道立総合研究機構地質研究所等に納本・寄贈し、研究成果の広範な利用に供した。

「会員の地質学に関する専門知識の普及」事業として3回(4日間)の市民向け公開講座を行った。この公開講座は北海道教育委員会の道民カレッジ連携講座に認定され、また札幌市、札幌市教育委員会、一般社団法人北海道地質調査業協会、北海道高等学校理科研究会の後援を得て実施された。この公開講座の目的の1つに高校生以下の地学リテラシーの向上があり、毎回、札幌圏を中心に50校以上の高等学校に案内を送付している。

「会員の地質学に関する専門知識の普及」事業として北海道中川郡中川町開催「平成30年度中川町自然誌講演会」実施委託事業を実施した。また、当研究センターと同様なシニア専門家からなるNPO法人の全国各地での設立促進をも念頭において、日本地質学会第126年学術大会(山口大学にて開催)会期中に集会「人生100年時代のシニア地質屋の集い：NPO法人設立の呼びかけ」を開催した。

今年度特筆されるのは「札幌市とその周辺の地質に関する市民向け公開講座の実施事業」が「札幌市さぼーとほっと基金助成事業」に採択されたことである。それによって公開講座開催経費の一部に札幌市からの助成金が充てられることになった(助成金の受取は次年度)ものの、公開講座開催を含む事業活動の大部分は会員による無償役務の提供によって支えられており、収益自体の改善が次年度に引き続き課題である。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位：千円)
①会員の研究を支援する活動	研究セミナー開催事業 第10回研究セミナー開催	(A) 2019/1/19 15:30-17:00 (B) 札幌市手稲区 手稲区民センター 第1会議室 (C) 16名	(D) 市民 (E) 3名	4(支出) 0(収入)
①会員の研究を支援する活動	研究セミナー開催事業 第11回研究セミナー開催	(A) 2019/3/8 14:30-16:00 (B) 札幌市中央区 北海道立道民活動センター かでの2・7310号室 (C) 17名	(D) 市民 (E) 2名	4(支出) 0(収入)
①会員の研究を支援する活動	研究セミナー開催事業 第12回研究セミナー開催	(A) 2019/5/9 14:30-16:00 (B) 札幌市中央区 北海道立道民活動センター かでの2・71010号室 (C) 9名	(D) 市民 (E) 1名	4(支出) 0(収入)

①会員の研究を支援する活動	研究セミナー開催事業 第1回論文輪読会開催	(A) 2019/6/30 10:30-12:00 (B) 札幌市北区 エルプラザ 札幌市市民活動サポートセンター ミーティングルーム (C) 10名	(D) 地球惑星科学研究者等, (E) 2名	0 (支出) 0 (収入)
①会員の研究を支援する活動及び②会員の研究成果の発表・出版を支援する活動等	アクセスフリーの学術雑誌「総合地質」2巻1号発行	(A) 2018/10/25, (B) インターネット上の当研究センターホームページにてオンライン版公開 (C) 6名	(D) 地球惑星科学研究者等 (E) 不特定多数	65 (支出) 2 (収入)
①会員の研究を支援する活動及び②会員の研究成果の発表・出版を支援する活動等	アクセスフリーの学術雑誌「総合地質」3巻1号発行	(A) 2019/9/20, (B) インターネット上の当研究センターホームページにてオンライン版公開並びにプリント版印刷 (C) 6名	(D) 地球惑星科学研究者等 (E) 不特定多数	65 (支出) 30 (収入)
③会員の地質学に関する専門知識の普及	公開講座開催事業 第3回公開講座「海と陸の本当の違い - 砂漠の国オマーンで見る海底下40kmの岩石の世界 -」開催	(A) 2019/2/23 13:00-16:00 (B) 札幌市中央区 かでる2・7550号室 (C) 7名	(D) 市民 (E) 30名	128 (支出) 34 (収入)
③会員の地質学に関する専門知識の普及	公開講座開催事業 第4回公開講座「4万年前、札幌を埋め尽くした支笏火砕流 - 札幌軟石は支笏火山の置き土産 -」開催	(A) 2019/6/8 13:00-15:00 (B) 札幌市南区 石山振興会館 および石山緑地 (C) 10名	(D) 市民 (E) 34名	141 (支出) 69 (収入)
③会員の地質学に関する専門知識の普及	公開講座開催事業 第5回公開講座「小さな化石(珪藻)から石狩平野の生い立ちを知る - 縄文海進の世界 -」(その1)	(A) 2019/7/6 13:00-16:00 (B) 札幌市中央区 かでる2・7620号室 (C) 13名	(D) 市民 (E) 36名	137 (支出) 151 (収入)
③会員の地質学に関する専門知識の普及	公開講座開催事業 第5回公開講座「小さな化石(珪藻)から石狩平野の生い立ちを知る - 縄文海進の世界 -」(その2)	(A) 2019/7/13 13:00-16:00 (B) 札幌市中央区 かでる2・7620号室 (C) 13名	(D) 市民 (E) 30名	9 (支出) 0 (収入)
③会員の地質学に関する専門知識の普及	北海道中川郡中川町開催「平成30年度中川町自然誌講演会」実施委託事業	(A) 2018/11/1 18:30-20:30 (B) 中川町生涯学習センター ちゃいむ 大会議室 (C) 4名	(D) 中川町町民 (E) 約20名	
⑨その他目的を達成するために必要な事業	日本地質学会第126年学術大会(山口大学)会期中の集会「人生100年時代のシニア地質屋の集い: NPO 法人設立の呼びかけ」開催	(A) 2019/9/24 12:00-13:30 (B) 山口市 山口大学理学部第3セミナー室 (C) 3名	(D) 地球惑星科学研究者, (E) 5名	

(2) その他の事業

事業名(定款に記載した事業)	具体的な事業内容	(A)当該事業の実施日時 (B)当該事業の実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の金額 (単位:千円)

当法人は定款において特定非営利活動に係る事業以外の事業の実施を定めていない。

[作成上の注意事項]

2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載してください。

2(2)には、定款上「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載してください。